

インフルエンザHAワクチンの予防接種を受けられる方へ

1. インフルエンザHAワクチンについて

2025年度のインフルエンザHAワクチン製造株に基づき、A型H1N1、A型H3N2、B型ビクトリア系統の3株混合のインフルエンザワクチンとして製造されたものです。

2. ワクチンの効果と副反応について

予防接種により、インフルエンザの発症を予防したり、発症しても症状が軽くすみます。また、インフルエンザによる合併症や死亡を予防することが期待されます。

ワクチン接種に伴う副反応として、発熱、頭痛、倦怠感や注射部位が赤く腫れる、硬くなる、熱をもつ、痛くなることがあります。ごく稀ですが次のような副反応を起こすこともあります。(1) ショック、アナフィラキシー（蕁麻疹、呼吸困難、血管浮腫等）、(2) 急性散在性脳脊髄炎（接種後数日から2週間以内の発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等）、(3) 脳炎・脳症、脊髄炎、視神経炎(4) ギラン・バレー症候群（両手足のしびれ、歩行障害等）、(5) けいれん（熱性けいれんを含む）、(6) 肝機能障害、黄疸、(7) 喘息発作、(8) 血小板減少性紫斑病、血小板減少、(9) 血管炎（IgA血管炎、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、白血球破砕性血管炎等）、(10) 間質性肺炎、(11) 皮膚粘膜眼症候群

（Stevens-Johnson症候群）、急性汎発性発疹性膿疱症、(12) ネフローゼ症候群、このような症状が認められたり、疑われた場合はすぐに医師に申し出てください。なお、副反応による健康被害が生じた場合の救済については、健康被害を受けた本人または家族が独立行政法人 医薬品医療機器総合機構法に基づいて手続きを行うことになります。

3. 次の方は接種を受けないでください。

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5℃を超える場合）
- 2) 重い急性疾患にかかっている方
- 3) 過去にインフルエンザワクチンの接種により、アナフィラキシー（通常接種後30分以内に出現する呼吸困難や全身性の蕁麻疹などを伴う重症のアレルギー反応）を起こしたことがある方、なお、他の医薬品投与を受けてアナフィラキシーを起こした方は、接種を受ける前に医師にその旨を伝えて判断を仰いでください。
- 4) その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断された方

4. 次の方は接種前に医師にご相談ください。

- 1) 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気等の基礎疾患がある方
- 2) 過去に予防接種で接種後2日以内に発熱、全身性の発疹、蕁麻疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方
- 3) 過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある方
- 4) 過去に免疫不全の診断がなされている方および近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- 5) 間質性肺炎、気管支喘息等の呼吸器系疾患がある方
- 6) 薬の投与または食事（鶏卵、鶏肉等）で発疹がでたり、体に異常をきたしたことがある方
- 7) 妊娠または妊娠の可能性のある方

5. 接種後は以下の点に注意してください。

- 1) 接種後30分間は、アレルギー反応（息苦しさ、蕁麻疹、咳等）が起こることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- 2) 副反応（接種部位の異常、発熱、頭痛、けいれん等）の多くは24時間以内に出現することが知られています。接種後1日は体調に注意しましょう。万が一、高熱やけいれん等の異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。また、健康管理センターへの報告をお願いします。
- 3) 接種当日の入浴は差支えありませんが、注射部位をこすことはやめましょう。
- 4) 接種当日はいつも通りの生活をしましょう。接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動や大量の飲酒を避けてください。